
昭和こじょう会便り

46号

2006年 12月号



昭和区 区民まつり(鶴舞公園)

発行 : 名古屋市高年大学鯨城学園～昭和鯨城会

46号発行にあたって

昭和鯉城会会長 (18期) 後藤 昇三

皆様にはお健やかに暮らしのことと存じ上げます。

今年も早いもので、もう師走の月になりました。昭和鯉城会の1年も充実した活動が皆様のご協力で作れたと思っています。

この3ヶ月間だけでも、夏、秋の福祉、区民まつりに参加して多くの来客が会場に来ていただきました。陶器類が好評で寄贈していただいた相当な数量が完売に近い程売れました。寄贈していただいた方のボランティア精神と良い作品がお客さんに通じたものと思っています。改めて紙面を借りてお礼申し上げます。

10月中旬に五軒家町に在る老人ホームの「ゆうゆう南山」で土鈴の絵付けボランティアを行いました。入居者40名中15名が絵付けに参加して、それぞれの想いを土鈴に絵で表現されました。創作の楽しさを十二分に味あわれたと思います。好評のため春、秋の年2回行うことに決めました。

また10月から昭和鯉城会のボランティア活動の1つとして、「名古屋クリーンパトナー制度」という清掃活動に参加することになりました。

資料を同封しますので、ご理解をいただいて是非参加してください。

10月20日の「海上の森」散策では23名の参加でした。

大半の人は大正池を見るのが初めてで、水は抜かれていましたが地層がはっきり見え白い木立が池の中に残されている風景は、上高地の大正池のミニ版でした。

100年前の「海上の森」が、日本三大ハゲ山の一つになったのは瀬戸焼窯の燃料で木を伐採したためで、ある人の力で植林して100年かかって今日の森になったそうです。愛知県民の宝物として大事にして行く必要があると聞き同感いたしました。山里の田畑全部に猪の防護柵が作ってあるのを見て、農家は大変だなあと実感すると共になんとかならないものかと誰もが思いました。

10月末に福原町の「なごやかハウス福原」の庭木の剪定を栗田さんがされました。さすがプロの技で雑木林が見事な庭園に生まれ変わりました。ご苦労様でした。

ちょっと早い予告になりますが、来年4月の昭和鯉城会総会後のアトラクションとして大須演芸場席亭の足立秀夫氏に講演をしていただくことになりました。年金問題をテーマにして1時間10分の講演です。すでに生活・福祉学科の人は教室で聴かれた方も多いと思いますが、軽妙、洒脱なトークで今、名古屋のトーク番組で第一人者になっている人です。

総会後、聴かなければ損です。3月の47号「こじょう会便り」配布の折に、足立氏のプロフィールを同封いたします。

来年も昭和鯉城会発展のため、会員一丸となって地域振興のため努力していきたいと願っています。

皆様 良いお正月をお迎え下さい。

以上

活動結果報告

(平成 18 年 9 月より 12 月の主な活動)

* 会議

- 9 月 14 日 (木) 昭和環境事業所 (後藤会長)
- 9 月 21 日 (木) 昭和環境事業所 (後藤会長)
- 9 月 28 日 (木) 鯨城会区長会・代議員会 (後藤会長・大野副会長)
- 10 月 2 日 (月) 鯨城会幹事会 (市之瀬副会長)
- 10 月 11 日 (水) 10 月度役員会
- 10 月 12 日 (木) 昭和区役所福祉課 (後藤会長)
- 10 月 31 日 (火) ライトハウス
- 11 月 1 日 (水) 11 月度役員会
- 12 月 6 日 (水) 12 月度役員会
- 12 月 11 日 (月) 鯨城会幹事会 (市之瀬副会長)

* 行事

- 9 月 22 日 (金) ~24 日 (日) 作品展
- 10 月 1 日 (日) 区民まつり
- 10 月 20 日 (金) 海上の森ハイキング
- 11 月 20 日 (月) 昭和区散策
- 12 月 13 日 (水) 昭和区散策

* その他

12 月 15 日 (金) 『昭和こじょう会便り』 46 号製本・配布

〈目次〉

表紙 (写真) 区民まつり(鶴舞公園)	
P 2 46号発行にあたって	P 11 ボランティア
P 3 活動結果報告	P 12 自由寄稿
P 4 今後の活動計画	P 13 //
P 5 活動レポート	P 14 //
P 6 //	P 15 クラブ便り
P 7 //	P 16 //
P 8 //	P 17 短歌
P 9 //	P 18 ニュース
P 10 鯨城会会則の改定について	

今後の活動計画

1～3月の行事予定をお知らせします。

***平成19年1月23日(火) 熱田神宮参拝**

世の中日進月歩すごいスピードで忘れられ、消滅していくもの数が多い。
そんな中まもなく、創祀 1900年を迎える「悠久の森」熱田を訪ねます。

★ 集合場所 熱田神宮 手水舎付近 午前9時50分集合

★ 案内 熱田神宮ボランティアガイド依頼

熱田神宮参拝と境内散策 約2時間です。



***平成19年2月13日(火) 大須演芸場**

ご好評により本年も「演芸」を楽しみます。

★ 集合場所 地下鉄 鶴舞線 大須観音駅 ②番出口

★ 集合時間 午前11時30分 (時間厳守)・開演12時

★ 入場料 一般1,500円(シルバー65才以上1,000円)



***平成19年3月6日(火) 市農業センター 針名神社**

早春に咲く枝垂れ梅(約700本)観賞と創建約1300年前と言われる平針の
氏神さま「針名神社」を訪ねます。

★ 集合場所 地下鉄 鶴舞線 平針駅①番出入口付近

★ 集合時間 午前9時50分

★ 行程 平針駅～針名神社(徒歩約15分)

針名神社～センター(徒歩数分)

農業センター～平針駅(約20分)

観梅時間を含め約2時間を予定しています。

「第4回趣味の作品展」成功裡に終了

18期 (環境) 市之瀬 威

昨年に続き去る9月22日(金)～24日(日)の3日間「第4回趣味の作品展」が「ふれあいポケット御器所ギャラリー」に於いて開催されました。

前日の作品搬入・設営、最終日の撤収と少々のハプニング(出展者で搬入されない方、撤収日に搬出されない方等)がありましたが、諸先輩のご指導のもと、円滑に運営する事が出来ました。関係各位のご協力に対し誌上を借り厚く御礼申し上げます。

今回、出展者43名(昨年比△7名)出展数58点(昨年比(△10点)と些か寂しい感が有りましたが、内容的には大変充実していたと自負致しております。来場者数は芳名録にご記帳戴いた方143名、未記帳の方々を含め概ね180名(昨年比△50名)の方々にご高覧戴けたものと考えております。「鯨城会本部」石根会長始め役員の方々、「各区鯨城会」会長及び役員の方々に足を運んで戴き「昭和区は大変レベルが高い」との好評を戴きました。

来年の秋「第5回趣味の作品展」を計画致しておりますので、会員各位に於かれましては今後1年間ご研鑽を積んで戴き、次回もご出展賜りますようお願い申し上げます。

「出展リスト」「作品票」作成失敗譚

小生表題の作成に当たり、絶対にミスは犯さないと心に誓い、氏名・期・学科・題名等細心の注意を払いました。乍、花水木会(千種鯨城会)のY氏が来場、17期・陶芸学科小川幾敏氏の「備前緋櫛鶴首壺」を見て

- Y氏 「いい、ひだすきだねー。」
小生 「この字でひだすきって読むのですか？」
Y氏 「そうですよ。」
小生 「？」



その場では判りませんでした。帰宅途中「櫛(けやき)」ではなく「櫛(たすき)」と気が付きました。翌日作品票は差し替えましたが、リストは訂正出来ませんでした。陶芸について門外漢とはいえ小川様には大変失礼致しました。紙面をお借りし深くお詫び申し上げます。

教訓：念には念を入れても間違いは起こる。更に念を！

昭和誠城会

第4回 趣味の作品展

平成18年9月22日(金)～24日(日)
於:ふれあいポケット御器所ギャラリー

出品目録

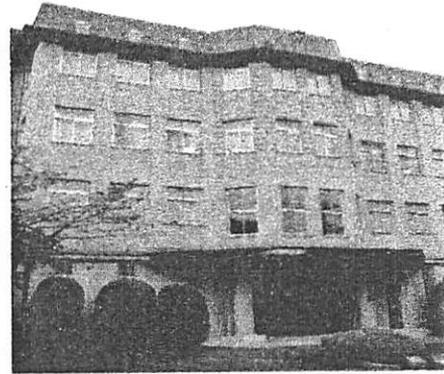
出品作品	出品者	期・学科	題名	摘要	
絵画	林 功三	1 1・美術	静物(魚)	日本画	
	高木 睦	1 4・生活	華観音(2点組-1)	日本画	
	高木 睦	1 4・生活	華観音(2点組-2)	水彩画	
	谷口 千鶴子	1 4・文化	アジサイ	油彩画	
	山口 順子	1 4・文化	静物	日本画	
	岡田 和雄	1 5・文化	火祭り(八事山興正寺)	日本画	
	岡田 和雄	1 5・文化	地藏堂への道	日本画	
	加藤 初雄	1 5・地域	称名滝(富山県)	日本画	
	荒川 巖	1 6・文化B	湖畔の春	油彩画	
	松尾 純造	1 6・美術	菊	水彩画	
	水野 治	1 7・美術	静寂	水彩画	
	後藤 昇三	1 8・美術	3つ子ちゃん	パステル画	
	杉本 仁	1 8・美術	止まり木の鳥	日本画	
	書	春日井 正幸	6・文化	漢詩	軸装
栗田 龍彦		9・園芸	柔能制剛(四言句)	半折額	
栗田 龍彦		9・園芸	自琢	半折額	
水野 美子		1 4・文化	ゆうぐれ	半切(条幅)	
市村 とよ子		1 5・生活A	千峰紅葉村	掛け軸	
佐治 正夫		1 6・文化	日日新又日新	篆刻	
山本慶次郎		1 7・文化	天網恢々(老子語)	掛け軸	
小川 博三		1 7・福祉	明月	色紙	
篠田 敦子		1 8・生活A		軸装	
鷺見 茂男		1 8・文化	他人の為に	近代詩	
後藤 昇三	1 8・美術	長寿の心得			
俳句・短歌	石橋 政雄	1 7・環境		俳句	
	石橋 政雄	1 7・環境		短歌	
陶芸	広江 昭二	5・陶芸	花生	花入	
	大澤 花子	1 3・陶芸	土瓶型 花入れ		
	林 喜久代	1 3・健康	うずくまる		
	林 喜久代	1 3・健康	筋入文様		
	荒川 巖	1 6・文化B	狛犬		
	白井 基久	1 6・陶芸	水盤	茶碗 植木鉢	
	小川 幾敏	1 7・陶芸	備前緋襷鶴首壺		
	可児島 英夫	1 7・陶芸	練込透明釉		
	可児島 英夫	1 7・陶芸	網織黄瀬戸釉		
	桜井 建郎	1 8・陶芸	錦秋		
	桜井 建郎	1 8・陶芸	蛙		
北瀬 勝	1 9・陶芸	水盤			
北瀬 勝	1 9・陶芸	花器			
その他	タペストリー	高瀬 みちよ	1 3・生活B	ハウス	
	拓本	神田 史郎	1 7・文化B	万葉の歌碑	
	缶アート	木村 恒	1 8・生活A	葛蒲	
		木村 恒	1 8・生活A	あさがお	
	伝承折り紙	酒井 昭彦	1 9・福祉	連鶴	
	切り絵	広江 昭二	5・陶芸	山鹿灯籠	
	盆画	菅 和世	1 8・国際	晩秋	
日本刺繍	中林 ハル子	1 9・園芸	雲中菩薩		
写真	近藤 勇雄	1 4・園芸	ハワイ扇子		
	奥中 健司	1 5・健康	紅梅に赤い橋(月ヶ瀬にて)		
	片山 義郎	1 7・園芸	川原の鯉のぼり		
	稲田 昌也	1 7・環境	天井画・如意輪観音		
	小林 久江	1 8・健康	炎の舞(トーチ)		
	小林 久江	1 8・健康	チベット族の祈り		
	市之瀬 威	1 8・環境	冬景		
	市之瀬 威	1 8・環境	闘(スペイン村)		
	北瀬 勝	1 9・陶芸	水車		
	余語 司郎	1 9・福祉	徳分苗族寨入口		
余語 司郎	1 9・福祉	苗族舞踊(豊作祈願)			

昭和区を歩こうに参加して



18期 (健康) 小林 久江

初冬の11月20日、秋中駅に集合し、南山ライネルス館の前で、昭和区案内人7名の方を紹介して頂く。会員15名・案内人の方々の多いのにチョッピリ驚く。写真撮影後、ライネルス館の学芸員の方に説明をして頂く。南山中学は“人間の尊厳”に基づく教育理念の実行の為にライネルス師により、昭和7年誕生、本年で73年を迎える。昭和初期から戦中・戦後までの貴重な資料が集められ保管されている。私たちの年代には、馴染み深いものばかり。館内非公開となっており、私達は、五軒屋町の方のご好意で見学させていただきました。有難うございます。



建物は、平成8年市の重要建造物、平成10年国の有形文化財に指定されている。正面玄関の柱頭は古代エジプトのパピルスを示唆、直上の装飾エレメントは、ファラオの守護神コブラ、明取りの三角窓・古代オリエントの動物神のヤギが配置してある。

八重桜の並木道を通り、五軒屋神明社へ向かう。拝殿前には、狛犬ならぬ狛ライオンが鎮座。私達も初めてお目にかかりました。

檀溪跡は、尾張名所図会にある景勝地で、白林寺の檀溪和尚が庵を結んだ所で地名となっている。山崎川にかかる竹の掛樋は隼人池から藤成新田への灌漑用水路で、川が深かった事を偲ばせる。橋の袂に《檀溪之勝蹟》の碑があり、案内人のお話では空襲で二つ折りになり転がっていたのを、地元の方が修復されたとのこと。

隼人池は溜池で、天保3年に犬山城主成瀬隼人によって造られ、水源として掛樋で山崎川を渡り新田に給水されていた。現在は隼人池公園となり浮見堂・散策路・遊園地や緑地が整備され、市民の憩いの場となっている。

日常、気にも留めずに通っていた街が、歴史の宝庫であり、名付けられた地名は、それぞれの歴史を物語っていました。



集合写真(南山中学)



昭和区の案内人の方々



毎年、「福祉まつり」や「区民まつり」に参加し、役員・会員皆さんの協力で作った土鈴や会員寄贈の手作り作品によるチャリティーを行っていますが、今振り返ってみますとこれを始めてからもうすでに10年にもなります。

当時「やきもの」のチャリティーは「福祉まつり」のみで行っており、その後「区民まつり」でも行うこととなり現在に至っています。

「福祉まつり」は時季が真夏で屋外のときはテントの中とは言え汗だくの奮闘で体的に厳しい時もありました。

初めの頃は初体験でもあり、うまくいくかどうか心配もあり、絵付けに必要な細かな道具類の準備に気遣いをしたことを思い出しました。

最初の一、二年は土鈴作製のほか、陶芸経験者に小皿、湯飲み、花器なども若干作ってもらい素焼き、釉掛け、本焼きまで行い実施しましたが、その作業が大変のため、その後は土鈴のみの作製にしました。

土鈴づくりは私が電気窯所有の「ライトハウス」で陶芸のボランティアであることから施設を利用させていただくことになり、作業場所や道具の使用、焼成作業(同所の作品と一緒に)などを依頼しています。

チャリティーの成果(売上金)はご承知のとおり全額福祉施設へ寄付していますが、『ライトハウス』には現金と同所使用の陶芸用小道具の現物寄贈も行い、同所の小道具は当鯉城会の寄贈でほとんど揃いました。(不足のときは要追加)

子供の土鈴の絵付けの様子を見ると、どんな形の土鈴も個性豊かに見事な色彩で描く様を見て、大人が思いつかない感性に教えられることが多くあります。

これからもこの催事を続けられることを願っています。

◎ 寄贈品(陶器・たわし) ご提供ありがとうございました

区民まつり、福祉まつりの折、以下の方々から貴重な作品をご提供いただきました。皆様のご協力ありがとうございました。

廣江 昭二 (5期)	山本 保人 (8期)	林 喜久代 (13期)
大沢 花子 (13期)	荒川 巖 (16期)	小川 幾敏 (17期)
船橋 正子 (17期)	桜井 建郎 (18期)	(順不同) (敬称略)

* 収益金を寄付しました

区民まつり、福祉まつりでのチャリティー販売の収益金を社会福祉協議会とライトハウス殿へ寄付いたしましたことをご報告いたします。

昭和鯨城会で計画の「海上の森」を歩いた。空全体に薄曇りで正午を過ぎた頃あいさつ程度の陽光といったよい日和であった。会からの案内に JR と地下鉄利用法があったが、初めて乗車体験のリニモのコースを選んだ。思ったよりスピードはなく満足できなかった。八草からの愛環鉄道も初体験。何事によらず初めての出会いは身も心も引き締まる。その後に満足感があった時などは人生の喜びですらある。こんな機会を多く持ちたいものだ。

愛環山口駅着。山奥と思っていたが、びっくり。こんなに人家があるとは想像外。ここからがコースだ。全 5.5 km とか。まず、川に出合う。矢田川であろうか、などと標識を調べたり、皆んな体調は良さそうだ。山に入る辺りから、野菊の小さな白い花、そっと静かに咲いている名も知らぬ花に迎えられる。雑木の間には至る所大きく綱を張る蜘蛛の巣。やや胴長で黄色に黒と横縞のある奴だ。子供の頃夏の柿の木にいた虫の色合いに似ている。刺されると痛くて腫れ上がったものだ。これが、中央で大きく脚を踏ん張り睨む。まるで毒蜘蛛だ。これ等をカメラに収める人もいたりして、山路に入る。少し行った頃アザミの花を見つける。鬼あざみとは違う。女性的で上品さ漂う薄紅色だ。鈴鹿山脈に多く咲くという。さらに進むと山路の両脇に轍(わだち)? 皆んな好奇心旺盛。まさかこんな山奥まで、猪が若芽かミミズを食べた跡のようだ。沢蟹を手で掴まえたりして人造林と自然林であると聞いたその間に立ち、上高地を思わせる水中に枯木のある池も見た。

昼食を「海上の里」に在った、古民家を移築復元した休憩所でとり、帰路についた。多少身体的に不安な人もいたのではと思うが、私も草野球で腕骨折りリハビリ中の身で参加。お互い気配りしながら一人の落伍者もなく無事歩き終えた。役員・幹事さんに感謝。

—平成 18 年結婚記念日の月に—



「海上の森」案内図



「海上の森」を散策する昭和鯨城会員の皆さん

昭和鯨城会会員の皆様へ

鯨城会会則の改定について

鯨 城 会
会長 石根 立雄

日頃は、鯨城会並びに区会の活動にご協力を賜り心から御礼申し上げます。鯨城会も毎年の会員数増加に伴い、活動内容の充実を一層求められて来ております。一方、入会金のみの財源（助成金も含む）から、財源が逼迫して来ております。因みに単年度収支では、近年赤字となっていており、この要因は3千円の入会金のみでは、今後の経費をまかなえないのが現状です。

また、時代のニーズを取り込んだ事業内容の更なる充実と、区会との連携を一層強化した全市的な社会奉仕活動などが、強く求められて来ております。

現状、上記の点について改善を急ぐべき状況と認識し、今年度初めより会則改定委員会を発足させ、鋭意検討をしまいいりました。

主なポイントは、①鯨城会と区会との一体化 ②財政の改善 ③会員制度と代議員制度の改革です。

これは、「鯨城会は区会がベース」との基本的な考え方から、会員制度を見直して、学園卒業生は鯨城会と区会に入会していただき、区会員＝鯨城会会員となる抜本的な改革を考えております。それに伴い入会金の改定、年会費の新設を予定しております。

また代議員は、区会会長が兼任とすることにして、区会の総意を代議員会にて反映できる組織といたします。また、幹事2名は、総て区会より選出して幹事会を運営していただきます。これにより鯨城会と区会との連携が一層強くなります。

以上の内容に沿った会則の改定を平成18年度中にご承認いただき、平成19年度より実施いたしたく考えておりますので、会員の皆様には、鯨城会並びに区会発展のために何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

☆ この程、鯨城会会長より上記のような改革メッセージが出されました。一部昭和鯨城会会則の改定を必要とするものについては、来年4月の総会に於いて皆様にお計りいたしますので何卒宜しくお願いいたします。

昭和鯨城会 役員一同



土鈴絵付けボランティアの事



19期 (地域) 渡辺 信良

昭和区福祉まつりの折り『ゆうゆうクラブ南山老人ホーム』の係員が絵付けコーナーに立ち寄られて、当施設で土鈴絵付けを教えてほしいとの依頼があった。

10月17日に会長以下数名で同施設へ出向き、絵付けボランティアを開いた。

施設は山崎川にかかる壇溪橋の近くで閑静な場所に在り、約40名の方が住んで居れるとの事。

当日約20名の方が参加され施設の食堂兼居間で絵付け作業を始めた。

午後から約2時間各人が熱心に、また楽しそうに絵筆を動かしておられた。

中には高齢で車椅子の人や、手も不自由な人も居られましたが、それにも拘わらず巧みに筆を使い、繊細な模様や風景、花、諺、等の文字も見事に描かれており、感心しました。この様な施設ではただ一緒に住んでいるだけではなく、皆んなで何か一つの事をやることにより会話が弾み、更に親しみも増し、心も癒され健康にもプラスになるものと推察致します。その意味で我々の訪問が多少でも役立っていれば幸甚です。

最後に施設の所長様から感謝され、今後も年(春・秋)2回位実施してほしいと申し出があり、引き受ける事としました。 以上

会員の皆さん行事に参加しよう!!

平成18年度行事一覧表

4月29日(土) 八事山歩こう会	10月20日(金) 「海上の森」ハイキング
6月21日(水) 市政出前トーク	11月20日(月) 南山中学校見学と昭和区散策
7月2日(金) アサヒビール工場見学	12月13日(水) 暮雨巷見学と周辺散策
8月20日(日) 福祉まつり	1月23日(火) 熱田神宮参拝
9月22日(金)~24日(日) 趣味の作品展	2月13日(火) 大須演芸場
10月1日(日) 区民まつり(鶴舞公園)	3月13日(火) 市農業センターと針名神社

※ 18年度の行事も、まだ3回残っています。最近参加者が減っております。
昭和鯉城会の行事ですので、会員の皆様 是非ご参加下さい。

バルト3国と言われても、イメージが浮かばない。もし浮かぶなら第二次世界大戦の時、ナチスの迫害を逃れ、日本通過を求めてきたユダヤ人に、国の命令に背いてビザを発行し、多くの人命を救った領事杉原さんの事ぐらいでないでしょうか。この8月幸いにも、この3国に旅をする機会を得ました。

セントレアからヘルシンキまでの直行便が6月から運行され、非常に短時間で行ける様になり、その上ヘルシンキから飛行機で30分程でエストニアの首都タリンに到着です。この3国とは北からエストニア・ラトビア・リトアニアですが、3国の面積を全部合わせても、日本の半分にも達しません。そんな小さな国ですがそれぞれ国の生き立ち、言語、文化に違いがあるのです。これを一括してバルト3国とまとめて扱われるのは、単に3国がバルト海に面しているからだけではなく、3国ともヨーロッパとロシアの境界に位置し、興亡の歴史の中で、常に運命を共にしてきたからです。

バルト3国の首都タリン・リーガ・ヴィリニユスの順に回りました。この3都市に共通して言える事は、旧市街が中世の風情を残して保存されていることです。東のロシアから、西のドイツ・ポーランド等から絶えず侵略を受けてきました。旧市街の道路は敷石で舗装されていますが、500年~1000年の歳月を経た敷石です。この上を軍靴が、軍馬のひずめが、戦車のキャタピラが通り抜けた道です。建物は石・煉瓦を漆喰で固めた壁、窓・屋根等、非常に調和的であり、まさにタイムスリップして、中世のヨーロッパに來た感がしました。町の運命は数多くの戦争や、破壊に遭っているのにかかわらず、見事に復元されています。財政的にもそれほど裕福な国でないのに、不思議な街です。2年や3年でなく何十年かの歳月を掛けて復元したのです。絶えず列強の支配下に遭ったのに、市民の表情は意外に明るく感じました。

旧市街はそれ程広くはないが、2.5キロの城壁に囲まれたタリン、川と堀に囲まれた0.5平方キロのリーガ、東ヨーロッパでは、最も広く3.6平方キロのヴィリニユス、見所はこの旧市街に集中しています。近隣の強国に支配された関係か、教会もロシア正教・プロテスタント・カトリックと、夫々の建築様式の教会を見ることが出来ます。

街の交通機関は社会主義国家で多く見られるトロリーバス、トラムと呼ばれている路面電車、大型のバス等で、日本と違い満席で走っています。名古屋でも路面電車を残しておくと思えます。観光的には未開拓の地域なのか？一週間滞在中、日本人を見たのは一回だけでした。3都市とも世界遺産都市の指定を受けています。3都市が近くにあるので移動が楽です。又8月の平均気温が最高20度前後、最低12度前後、夏に避暑がてら中世の都市にタイムスリップされる事をお勧めします。



思い出に残るゴールドコーストマラソン

18 期 (生活) 久保 邦成

本年7月2日第28回ゴールドコーストマラソンに参加してきました。一昨年12月のホノルルマラソン以来1年半ぶりのフルマラソンです。オーストラリアの7月は冬季で学校は休みでしたが、日本の5月初旬の気温で走るには最適です。ゴールドコーストは海と緑に囲まれた清潔で美しい町でした。5種目総勢13,000人を超える参加で、今年は日豪交流年で日本からの参加者が1,100人と例年より多いとの事でした。交流観光大使でオリンピックのメダリスト有森裕子さんが前夜祭の Pasta Party に参加され私達と交流し、翌日はハーフマラソンに参加されました。コースは殆どフラットで美しい白い砂浜、その名の通りの黄金海岸を眺めながら駆け抜けるという設定です。

さて当日は、晴れ、気温10℃、私の体調もベスト。フルは6時30分サーフポートをスタート、そこから町の中心街サーファーズパラダイスを通りマイアミを過ぎてすぐの12km地点で折り返し再び21km地点でありスタート地点であったサーフポートまでは順調でした。今回は4時間を切ることを目標に練習してきました。時計を見ると1時間50分、このペースを維持出来れば4時間以内でゴール出来ると確信していました。ところが35kmの折り返し地点ラナウェイベイを過ぎた辺りから急に足が重くなり38km地点では足が上がらなくなり、まるで鉛の靴を履いているようでした。

ペースはどんどん落ちもはや気力だけで走っている状態でした。そんな時、沿道からガンバレ！ニッポンと声援を受け再び奮起し何とかゴールできました。ゴールで名前をコールされた時は感無量、目標の4時間を切ることは出来ませんでした。ホノルルマラソンの記録を40分ほど短縮出来て満足です。42.195kmはやはり長く、過酷です。走りぬくには強い精神力とそれに伴うスタミナが必要と痛感しました。ホノルルマラソンとはまた一味違った雰囲気があり私達ランナーを十分満足させてくれる素晴らしい大会でした。同行した家内が初めてハーフマラソンに挑戦し2時間30分でゴールしたのは驚きました。本人も驚いたようですが、日頃登山などで足腰を鍛えてる成果だと思えます。

次の目標は来年2月18日の第1回東京マラソンです。今度こそ4時間を切るため年齢と体力を考え調整しながらトレーニングして参加したいと思っています。



ゲートボールもまた楽しい

19期 (地域) 古澤 良蔵

最近スポーツ多様化でゲートボール人口の減少につながっていると聞きますと少し寂しくなります。私がゲートボールを始めた動機は公園で練習中のメンバーから、「ちょっとやってみませんか」の一声で打ったボールがキーンと澄んだ音と共に5m先のボールに気持ちよく的中、「ナイスショット」の歓声と誘いに乗って入会したのが鯨城学園入学の年でした。

ゲートボールとグランド・ゴルフの愛好者として魅力度をちょっと探ってみました。ゲートボールは1947年北海道でグランド・ゴルフは1982年鳥取県で子供からお年寄りまで年齢に関係なく参加でき、基本ルールは簡単で体力負担を要しない、気軽に楽しめるスポーツとして考案されています。

少し異なるところは①プレーヤーの数に制限があるのがゲートボール=5対5のチームプレー、数に制限がないのがグランド・ゴルフ=個人プレー、②ルールは60年弱の歴史のあるゲートボールに細かなルールが出来上がっている、ルールはごく簡単で初心者もすぐに取り組めるグランド・ゴルフ、等々があります。

走り回る必要もなく、ゴルフのようにお金もかからず、子供からお年寄りまで、幅広いあらゆる年齢の人が楽しめるスポーツも、取り組みと楽しめるは別問題で、ゲートボールは囲碁、将棋に通じる戦略または作戦テクニックと頭の体操で勝敗の行方が大きく左右される実に奥の深いスポーツ、他人との係わり合いが少なく指示を受けることもなく単調なスポーツのグランド・ゴルフの差は大きくあります。

ゲートボールは全盛期に色々とトラブルもあってイメージを落としたといわれますが、私の知る範囲ではチームでのトラブルは聞いた事也没有なので安心です。私たちのクラブはシニア、スーパーシニアで構成の15名で日常参加は自由、楽しくやろう、がモットーです。早朝に公園一帯の掃除を終え、気分爽快で、和気あいあいと勝手放題に喋り合いながら「心の健康、体の健康」で足腰の衰えをカバーし、練習あとの喫茶店でワイワイがやがやのコーヒータ임もまた元気のもととなっています。

昨秋チーム7名(私も)は先輩の熱心な指導を得て幸運にも名古屋選手団(17種目152名)の一員となって「ねんりんピック 2005 福岡」大会へ出場する事が出来ました。まだまだ先輩諸兄姉のテクニックには及びませんが対外試合は年間20回前後、練習を重ねる事で思い通りに操れるボールは楽しい魅力のあるスポーツです。

ゲートボールは「お年寄りのスポーツ」というイメージをお持ちの方もいらっしゃると思いますが、プレーヤーは誰も年寄りと思っていません。色々なスポーツに係るのもよし、選ぶのはあなた自身のお考えですが、未経験の方にお奨めです。一度体験してみませんか「場所」地下鉄川名駅2番出口の川名公園コースで朝8時30分からです。(日・祝日お休み)。

鯨城会員皆様のご健康とご多幸をお祈りしつつご紹介させていただきました。

風呂敷体操の練習はじまる

リズム体操クラブも先生、会員各位のご協力により順調にスケジュールをこなしております。

さて今回は今秋から練習を開始しました風呂敷体操についてご報告したいと思います。この体操は西川裕子先生の創作されたもので、先生のお考えではまず昭和の当クラブで実験してみてもうまく行くようであれば他地区のクラブにも取り入れてみようと考えておられるようです。風呂敷は普通の家庭で使われている 70 センチ角より大きく 90 センチ角のもので色模様は 3 種類あり、伏見の長者街問屋から仕入れてきました。

西川先生、大塚先生の二人で模範演技をして頂きますが見ている我々会員はきれいで面白く思わず拍手をしますが、さてこれを練習としてやってみますと高齢の我々は体が硬くとても先生のようになめらかに演技をすることが出来ません。練習日ごとにあせらず、諦めずにひとつずつ覚えてゆく以外にありません。半年くらいたてば皆さん覚えて少しは上達するだろうと自分にいい聞かせています。

以上

風呂敷体操風景



グランド・ゴルフクラブニュース

19 期 (地域) 磯村 良治

昭和鯨城会×名東鯨友会 親睦競技会

恒例となっております名東鯨友会との親睦グランドゴルフ大会が今年は名東鯨友会の主催で10月20日牧野ヶ池 多目的グランドで開催されました。当日は昭和鯨城会の行事 瀬戸「海上の森」散策と重なり参加者は11名と少人数でしたが、優勝は渡辺さん 三位に佐治さん、五位に吉村さんと好成績でした。しかし 多目的グランドで周囲に雑草や砂地の不慣れ [言い訳ですか?]で苦勞 全員スコアがのびません。競技終了後サガミ梅森坂店にて、表彰と和気相合の親睦会がありました。



上位入賞者とスコアー		*昭和鯨城会 () 内はホールインの数			
(順位)	(氏名)	(スコアー)	(順位)	(氏名)	(スコアー)
優勝 1位	* 渡辺 忠	41	6位	逢菜 賢	44
入賞 2位	小林 孝雄	42 (1)	7位	奥谷 好佑	45
入賞 3位	* 佐治 正夫	42 (1)	8位	堀田 章	46
入賞 4位	野村 善治郎	43 (1)	9位	林 嘉代子	46
入賞 5位	* 吉村 卓次	43	10位	奥田 靖男	46 (1)

昭和鯨城会の参加者 11 名(順不同・敬称略)

渡辺 忠	佐治 正夫	吉村 卓次	国松 篤美
栗田 龍彦	磯村 良治	春日井正幸	近藤 清晴
永田 佑千	光崎 俊男	後藤 林造	

19年1月~3月の開催予定日 但し1月は休み

	競技日	練習日	競技日	練習日
1月 度	冬 休 み			
2月 度	6日	13日	20日	27日
3月 度	6日(大会)	13日	20日	27日

<お知らせ>

- * 火曜日 午前10時より
- * 恒例の 昭和鯨城会グランドゴルフ大会を3月6日[火]に開催します。
- * 場所は 吹上 高架下広場 午前10時より
- * 詳細は 2月 配布チラシにて

短歌

雑感

木村 恒（十八期生活）

五分咲きのラベンダーの花にそつとふれ

香りひきよせまなこをどじる

犬二匹車椅子の人と歩を合わせ

行きつもどりつ藤の回廊

隣よりおすそ分けあり旬の味

ぶるんとまるくて光る秋茄子

夜ふけて電車は明かりをつれてくる

駅も車内も人かげまばら

ばんやりと秋の陽ざしをながめてる

落ちつかぬ日々のすぎさりしあとで

短歌

この一年

後藤 林造（十一期園芸）

嫁ぎきていつに変わらぬ盆供養

臥しがちなれば一皿に盛る

乳房亡くし残る痛みに苛立ちて

逆らひくるを穏しく受くる

やうやくに診察室によぼるるに

画面に向かひキー叩くのみ

はるかなる教へ子よりの供花とどき

白き香満つる仏間に寝ぬる

或持ちよく酔ひて乗りたる地下鉄に

隣りしギヤルはわざと咳する

ニュース

※ 学園ニュース

① 公開講座 平成19年2月16日(金)10:00~11:30 鯉城ホール
(津軽三味線 高橋 竹大)

② 卒業式 平成19年3月16日(金) 予定

※ 鯉城ニュース

① 公開講演会(第12回)平成19年2月8日(木)13:30~15:00(鯉城ホール)
「そば物語」講師 吉川 繁幸氏(18期文化A学科卒)

※ 昭和鯉城会

昭和鯉城会では、10月17日(火)「ゆうゆうクラブ南山」に於いて、土鈴絵付のボランティアを行いました。今後 年 1, 2回の開催を予定しております。

※ 名古屋クリーンパートナー制度(道路の清掃活動)に参加を決めました。

毎月1回(1月24日(水)) (2月28日(水)) (3月14日(水))
地下鉄 荒畑駅:南:10時集合(皆様の参加をお待ちしております。)

※ 名古屋まつり協賛

平成18年度昭和区民美術展 昭和区美術協会 奨励賞
写真の部 市之瀬 威 (18期)



* 役員一同より

昭和鯉城会趣味の作品展に際しては、鯉城会会長・各会長はじめ多くの皆様のご来場を得て、盛会裡に終了することが出来ました。有難く感謝しております。

(編集後記)

厳しい残暑・大雨・台風、そして竜巻と異常気象に見舞われた今年も残り少なくなりました。師走の声を聞き、何かと慌ただしい中にもふと時の流れの速さに驚きを感じるのは、それだけ年をとった証拠でしょうか。

皆様からお寄せいただいた原稿で「昭和こじょう便り」46号が出来上がりました。誠にありがとうございました。今回我々19期生も編集に参加させていただき先輩方の苦勞を知り次号からの新広報部一同不安と責任の重さをひしひしと感じております。会員の皆様には今後一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

それでは、皆様 良いお年をお迎え下さい。

昭和区鯉城会会報「昭和区鯉城会便り」46号

発行責任者 : 後藤 昇三

編集委員 : 大野 敏博 吉田 一郎

小林 久江

市川 賢 八神 邦子

中林 ハル子 伊藤 敬子